



緑の募金

GR 現代林業

G e n d a i R i n g y o u

森林環境譲与税活用研究シリーズ③
木材利用・自治体間連携・普及啓発



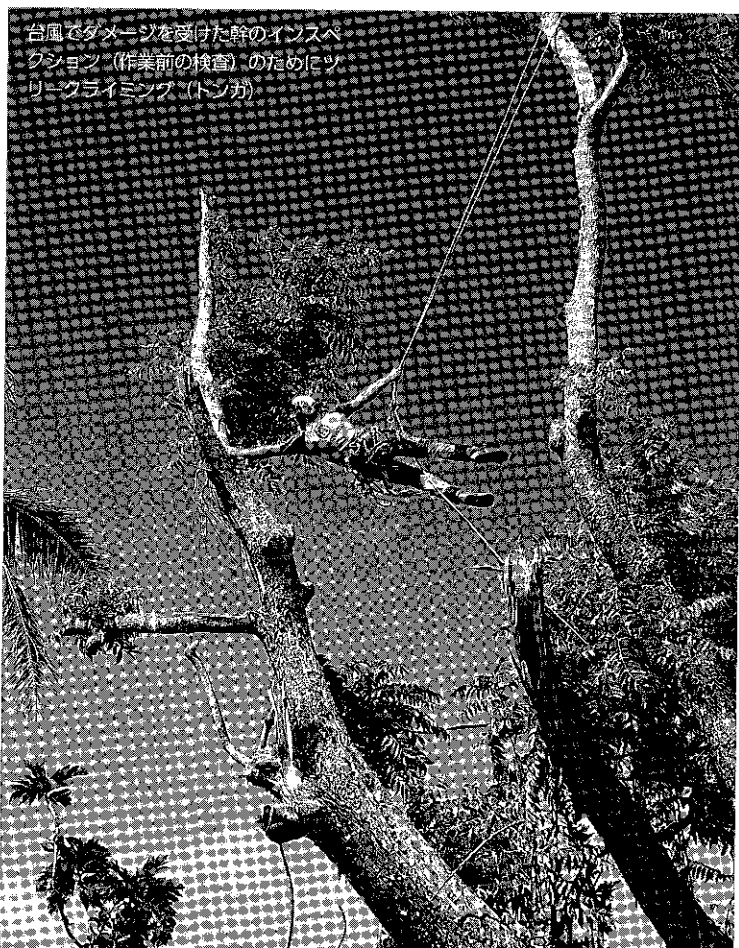
7
July
2020

自然災害に備える「災害救助アーボリスト®」

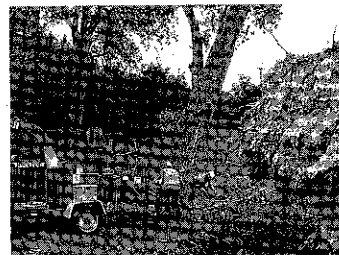
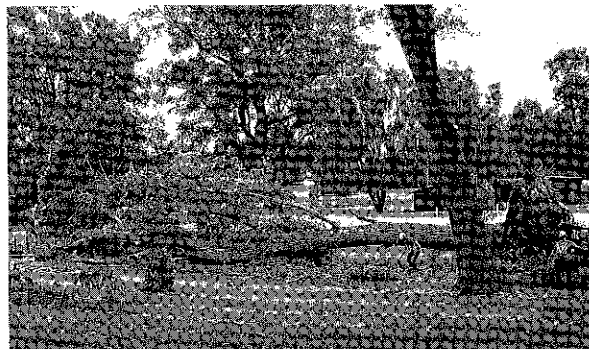
アーボリスト®トレーニング研究所(ATI)

認定アーボリストの中でも特別な訓練を受けて、さまざまな災害に対応できるスペシャリストのことを災害救助アーボリスト (Disaster Rescue Arborists) と呼びます。ATIはニュージーランドのTREE TECH TREE CARE SERVICEと提携を結び、日本でも電気会社、林業、救急隊員、消防士、軍隊および他の災害救援隊員など、他分野の専門チームとスムーズに協力できるようにプログラムを組みトレーニングを始めます。

ニュージーランドやその周辺の島国では、地学的・気象学的に自然災害が多く発生します。地震、台風、地すべり、森林火災…。こうした災害現場で活躍するTREE TECH災害救助アーボリストチームの仕事ぶりをご紹介します。

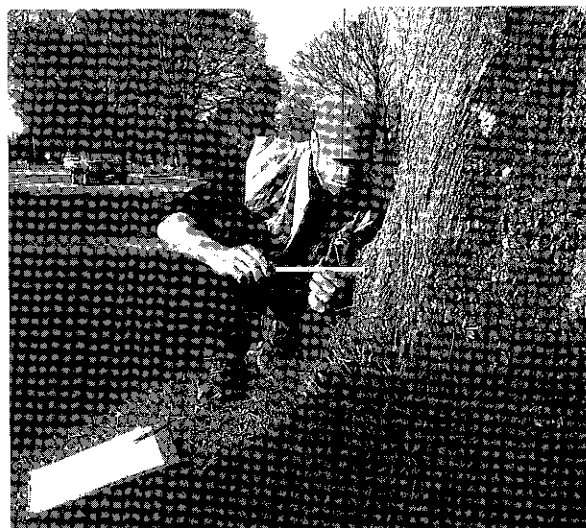


地震で被災した建物と樹木



倒木の枝葉は、チップパーを使ってその場で処理

木を測定・検査して、地震後の木の傾きをチェックする。監視を継続して、新たに地震が発生したら傾きが変わっていないかなどを確認する。これは簡単な高速スポットチェックで、おもりの付いた糸を吊り下げて、糸と木の距離を測り傾斜を測定。また、地面と根が安定しているかなども確認。大雨の後にはそれほど大きくない地震で倒れてしまう危険がある



災害救助アーボリスは、認定アーボリスとしての経験はもちろん、緊急時に対応する能力を要求されます。また、消防など他分野のチームの動きを理解するため、何度も合同訓練を行いようやく出動できるようになります。

ここで紹介している会社では、100名以上のアーボリスが所属していますが、その中で災害対応時の指揮官として動けるのは一握りということです。

駆け出しの災害救助アーボリスは、災害後の対応から多くを学ぶので、復旧の仕事しながら現場経験を積み学んでいくことになります。

彼らは、上級救急救命、上級エアリアルレスキュー（樹上での救助）、危険木診断、電線工事の知識、技術の習得に加えて、防災の観点から、危険木から家屋を守る樹木診断や土壌調査を行い、強風で倒木が起らないかを調べ、適切な剪定やケーブリングもできるようにする必要があります。



◀2011年2月に発生したニュージーランド地震。クライストチャーチ郊外のメリパールでは建物が倒壊し、大きな被害を受けた

▼道路が割れている状況の中、エイヴォン川（Avon River）沿いの樹木をクレーン車を用いて除去した

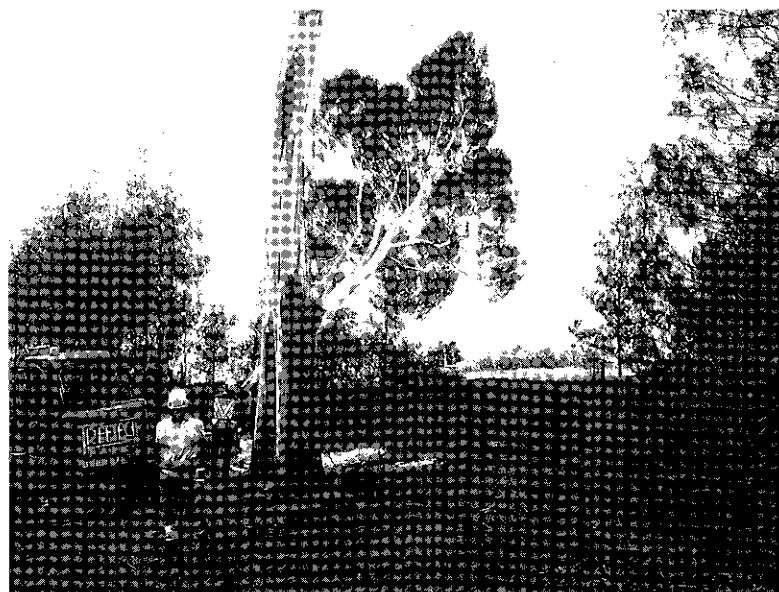


植物園の巨木が根返りし、建物に直撃した

土砂崩れと森林火災



斜面が崩れ、土砂が線路に流入した現場。復旧活動が安全に行えるかどうか、作業開始前に、災害救助アーボリストが樹木の状態を評価する。危険な木や枝を切り取るなどの作業も行う



森林火災後、災害救助アーボリストが樹木のリスクと健康状態を評価しているところ。樹木を除去するか、残すかを決定する（除去対象は幹に×印）。

台風被害木の剪定



▲2020年4月8日の台風でダメージを受けた樹木の剪定。木を剪定しながら検査を行い、木が危険をもたらさないことを確認している

◀1頁目の写真で取り付いた幹での剪定

災害救助アーボリストのみなさん



災害救助アーボリスト育成のための現場トレーニング



クリス・ウォルシュ氏 (Treetech Treecare Services Ltd 代表)。
樹木管理や災害対応の他にも、スカイダイビングやパラセーリング中に木に引っかかった人々や、木から下りられなくなった猫を救出することもある



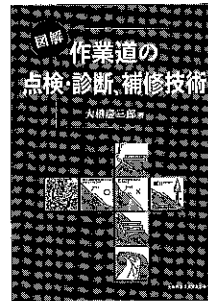
クリス氏の会社に勤めるアーボリストで編成された災害救助アーボリストチーム

今回写真を提供してくれたクリス氏は、ニュージーランド樹木協会の元会長であり、現在、ISA(国際アーボリカルチャー協会)の理事兼副会長を務めています。ニュージーランドのクライストチャーチに拠点を置くツリーケア管理会社(Treetech Treecare Services Ltd)のオーナーでもあり、太平洋地域での事業を管理しています。これまでに、壊滅的な被害をもたらした地震、台風、大規模な山火事等、20年以上の業界経験と11年間の上級消防士としての緊急対応の専門知識を持ち合わせています。

これらを活かしてトレーニングプログラムの整備、最先端の産業技術開発、緊急的な災害対応のシステム構築などに取り組み、その実績は高く評価されています。

(文)アーボリスト®トレーニング研究所所長・ジョン・ギヤスライト)

全林協の本



ISBN978-4-88138-323-0

図解 作業道の点検・診断・補修技術

大橋慶三郎 著

定価：本体3,000円＋税
山に開設した道は、どのように維持管理すれば、半永久に保たせることができるのでしょうか？

本書は、50年前に林内路網を完成させ、道を活用してきた著者が、長年の経験から得た道の点検・診断、補修に関する知見、技術ノウハウ、工夫などを集約し、まとめたものです。要注意ポイントの点検、ルート診断、施工診断、道の補強・補修技術の実際について、分かりやすく図解した実践書です。

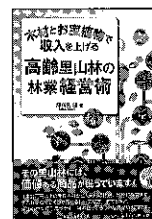
読者カード

●左のカードに「意見」「質問」身近な話題などお書きの上、ご応募ください。「ひろば」に掲載される場合もございます。

QGISスペシャリストを目指して!



広葉樹林を
宝の山に!



1 0 7 - 0 0 5 2

63 円切手をおはりください

東京都港区赤坂 1-9-13
三会堂ビル2階
全国林業改良普及協会

月刊「GR現代林業」編集部行

編集部にあなたの声を
今月号の感想

Eメール
gr@ringyou.or.jp にもどうぞ。

この記事が良かった

こんな記事がほしい

①

②

GR現代林業をあなたのお知合いの方にプレゼントいたします。

住所・名前